

登別中学校 学校適正配置に関する地区別検討委員会

第9回教育環境部会 会議次第

日時 令和4年11月17日（木）18時00分

場所 登別市婦人センター講堂（2F）

1. 開会

2. 協議事項

（1）校区拡大（学校統合）に向けた基本的条件について

（2）統合に向けた基本的条件「通学方法・通学手段」について

3. 閉会

校区拡大（学校統合）に向けた 基本的条件について

令和4年11月17日
登別市教育委員会

学校統合に向けた基本的条件について

前回会議で概ね次の項目をピックアップ



- ①校名について
- ②校歌について
- ③制服について
- ④通学方法・通学手段について
- ⑤特色ある教育の取扱いについて
- ⑥学校保管資料の取扱いについて

学校統合に向けた基本的条件について

- ①校名について
- ②校歌について



協議対象にすることを条件に

- ③制服について
- ⑤特色ある教育の取扱いについて

協議対象にすることを条件に (協議内容を参考に学校が判断)

- ④通学方法・通学手段について



部会で詳細を検討しその結果を条件に

- ⑥学校保管資料の取扱いについて



(教職員間で) 協議対象にすることを条件に

学校統合に向けた基本的条件について

①校名について

統合後の校名について、両校関係者で組織する新たな委員会で協議することを条件とする。

②校歌について

統合後の校歌について、両校関係者で組織する新たな委員会で協議することを条件とする。

学校統合に向けた基本的条件について

③制服について

統合後の制服について、両校関係者で組織する新たな委員会で協議することを条件とする。

④通学方法・通学手段について

通学方法・手段には複数の手法があることから、この部会で最良の手法を協議し、当該手法を採用することを条件とする。

学校統合に向けた基本的条件について

⑤ 特色ある教育の取扱いについて

特色ある教育の取扱いについて、要望する項目に関し、両校関係者で組織する新たな委員会で協議することを条件とする。

⑥ 学校保管資料の取扱いについて

学校保管資料の取扱いについて、両校教職員で組織する新たな委員会で協議することを条件とする。

統合に向けた基本的条件 「通学方法・通学手段」

令和4年11月17日
登別市教育委員会

統合した場合の通学距離

仮に幌中との統合となれば

- | | |
|--------------|----------------------------------|
| ●登別中学校～幌別中学校 | 7.4 km |
| ●登別温泉～幌別中学校 | 11.8 km (大橋経由)
15.0 km (登中経由) |
| ●カルルス～幌別中学校 | 12.9 km (大橋経由)
20.8 km (登中経由) |

徒歩通学困難地域

何らかの交通手段を利用しての通学となる

徒歩通学困難地域への対応

①遠距離通学費補助

登下校に公共交通機関を利用し、交通費を教育委員会が補助

②スクールバス・スクールタクシー

教育委員会が徒歩通学困難地域から登下校用スクールバスを運行

③遠距離通学費補助とスクールバスの併用型

地域により遠距離通学費補助とスクールバスを併用

いずれにもメリットとデメリットが

部会でいずれの方法が良いかを議論

① 遠距離通学費補助（公共交通機関利用）

公共交通機関での登下校には条件整理が必要



- 現行の一部補助を全額補助とする。
- 登下校とともに現行ダイヤで対応可能か要確認（対応不可の場合はダイヤ調整の必要あり）
- 輸送人員を想定し、便数を確保する必要あり
- 国が示す通学時間の目安は（公共交通機関利用の場合）概ね1時間以内

路線バス利用：運行便の確保 **【登校時】**

- 登校は8時10分まで
- 利用想定数：約80人 ※R3.4生徒数87人
(一斉輸送の場合はバス2台必要)
- 利用路線
 - パターン① 温泉～登別駅前～幌別本町～室蘭FT
 - パターン② 温泉～登別駅前～幌小前～若山営業所
- 最寄りバス停
 - パターン① 市役所入口 (幌中まで徒歩17分)
 - パターン② 幌別小学校前 (幌中まで徒歩13分)

路線バス利用：運行便の確保 **【登校時】**

- 最寄りバス停に午前7時45分前後着が必須
- 全校生徒が一斉登校するため2便必要

(現行ダイヤ)

パターン①路線	カルルス	登別温泉	登別駅前	市役所入口
	(7:05)	(7:25)	(7:37)	(7:55)
パターン②路線	登別温泉	登別駅前	中央町1丁目	
	(7:28)	(7:40)	(7:56)	

→ 現行ダイヤの微調整で対応可能

路線バス利用：運行便の確保【下校時】

運行時間帯	便数	乗車数
① 13：20～14：20	2本	80人（特別：午前授業）
② 15：00～15：30	2本	80人（特別／通常：5時間授業）
③ 16：00～16：30	1本	30人（通常：6時間授業）
④ 18：00～18：30	1本	50人（通常：部活動終了後）

特別日課時は別途対応



運行時間帯	便数	乗車数
② 15：00～15：30	1本	30人（通常：5時間授業）
③ 16：00～16：30	1本	30人（通常：6時間授業）
④ 18：00～18：30	1本	50人（通常：部活動終了後）

路線バス利用：運行便の確保【下校時】

② 15 : 00～15 : 30	1本	30人	(通常 : 5限授業)
③ 16 : 00～16 : 30	1本	30人	(通常 : 6限授業)
④ 18 : 00～18 : 30	1本	50人	(通常 : 部活動終了後)

(現行ダイヤ)

②対応【ハターン①路線】	市役所入口	～ 登別駅前	～ 登別温泉
	(15 : 06)	(15 : 29)	(15 : 51)
③対応【ハターン①路線】	市役所入口	～ 登別駅前	～ 登別温泉
	(16 : 42)	(17 : 05)	(17 : 27)
④対応【ハターン②路線】	市役所入口	～ 登別駅前	～ 登別温泉～カルルス
	(17 : 56)	(18 : 19)	(18 : 42) (19 : 15)

→ 現行ダイヤの微調整で対応可能

路線バス利用の場合：幌別中学校までの通学時間

区 分	幌別中学校
	所要時間 (分)
カルルス	64
新登別	60
登別温泉	44
紅葉谷入口	41
中登別	39
ユートピア牧場	38
三愛病院前	37
登別東インター入口	36
汐見坂	34
マリンパーク通り	33
登別駅前	32

区 分	幌別中学校
	所要時間 (分)
登別	31
登別中学校前	30
登別小学校前	29
富浦	27
富浦駅前	27
西富浦	24

※最寄りバス停（市役所入口バス停）からの徒歩時間を含む（バス停～幌中1.3 km/17分）。

J R利用：運行便の確保 【登校時】

- 登校は8時10分まで
- 利用想定数：約80人 ※R3.4生徒数87人
- 利用路線
JR登別駅⇔JR幌別駅
- その他
幌別駅～幌別中学校：1.5km／20分
登校時：JR幌別駅で降車し幌別中学校まで徒歩
下校時：幌別中学校からJR幌別駅まで徒歩

J R利用：運行便の確保【登校時】

●JR幌別駅に午前7時45前後着が必須

(現行ダイヤ)

J R 登別駅 (7 : 34)	～	J R 幌別駅 (7 : 44)
J R 登別駅 (7 : 49)	～	J R 幌別駅 (7 : 58)

 現行ダイヤで対応可能

J R利用：運行便の確保【下校時】

運行時間帯	便数	乗車数
① 13：20～14：20	2本	80人（特別：午前授業）
② 15：00～15：30	2本	80人（特別／通常：5時間授業）
③ 16：00～16：30	1本	30人（通常：6時間授業）
④ 18：00～18：30	1本	50人（通常：部活動終了後）

特別日課時は別途対応



運行時間帯	便数	乗車数
② 15：00～15：30	1本	30人（通常：5時間授業）
③ 16：00～16：30	1本	30人（通常：6時間授業）
④ 18：00～18：30	1本	50人（通常：部活動終了後）

J R利用：運行便の確保【下校時】

- ② 15：00～15：30 1本 30人（通常：5時間授業）
- ③ 16：00～16：30 1本 30人（通常：6時間授業）
- ④ 18：00～18：30 1本 50人（通常：部活動終了後）

（現行ダイヤ）

- ② 対応 幌別駅（15：45）～ 登別駅（15：54）
- ③ 対応 幌別駅（16：15）～ 登別駅（16：24）
- ④ 対応 幌別駅（18：16）～ 登別駅（18：26）

→ 現行ダイヤで対応可能

② スクールバス・スクールタクシー

【運行系統】

登別便と**カルルス・温泉便**の二系統で運行

(登別便) 中登別～登別～富浦～幌別中学校

(温泉・カルルス便) カルルス～新登別～登別温泉～幌別中学校

【運行経路案】

道南バスの既存バス停を活用し運行

【運行時間】

登下校に合わせて運行（下校時は授業／部活動終了後に各便運行）

【その他】

休日の部活動等に関しては路線バス用の無料パスで対応

スクールバスの場合：幌別中学校までの通学時間

【登別地区】

区 分	幌別中学校
	所要時間 (分)
中登別	27
ユートピア牧場	26
三愛病院前	25
登別東インター入口	24
汐見坂	22
マリンパーク通り	19
登別駅前	20
登別	18
登別中学校前	18
登別小学校前	17
富浦	12
富浦駅前	12
西富浦	12

【カルルス・温泉地区】

区 分	幌別中学校
	所要時間 (分)
カルルス	36
新登別	32
温泉ターミナル	16
紅葉谷入口	13

※新登別大橋経由。カルルス温泉～新登別～温泉ターミナル～紅葉谷入口～幌別中学校の経路を想定。所要時間は路線バスの時刻表などを参考に計算

③ 遠距離通学補助とスクールバスの併用型

① 遠距離通学費補助

登下校に公共交通機関を利用し、交通費の一部を教育委員会が補助

② スクールバス・スクールタクシー

教育委員会が徒歩通学困難地域から登下校用スクールバスを運行

登別地区

路線バスのダイヤが
比較的充実

遠距離通学費補助で対応

カルルス・温泉地区

温中統合に続き、
遠隔からの通学に

スクールバスで対応

①と②の併用型の場合：幌別中学校までの通学時間

【登別地区】

(遠距離通学費補助：路線バス利用)

区 分	幌別中学校
	所要時間 (分)
中登別	39
ユートピア牧場	38
三愛病院前	37
登別東インター入口	36
汐見坂	34
マリンパーク通り	33
登別駅前	32
登別	31
登別中学校前	30
登別小学校前	29
富浦	27
富浦駅前	27
西富浦	24

【カルルス・温泉地区】

(スクールバス・タクシー利用)

区 分	幌別中学校
	所要時間 (分)
カルルス	36
新登別	32
温泉ターミナル	16
紅葉谷入口	13

統合時の通学手段をどうするか？

①遠距離通学費補助

登下校に公共交通機関を利用し、交通費を教育委員会が補助。病気の蔓延による学校閉鎖や気象条件による繰り上げ下校の際にも公共交通機関で対応。

【メリット】 ●乗車便に選択の幅があり、利便性が高い。

【デメリット】 ●降車後に徒歩を要し、通学時間が長くなる。

●突発事態で下校が早まる際に臨機応変な対応ができない場合がある。

②スクールバス・スクールタクシー

教育委員会が徒歩通学困難地域から登下校用スクールバスを運行。病気の蔓延による学校閉鎖や気象条件による繰り上げ下校の際にもスクールバスで対応。

【メリット】 ●学校まで運行され、通学時間の短縮となる。

●突発事態で下校が早まる際に臨機応変な対応が可能。

【デメリット】 ●登下校時間に選択の幅が無い。

いずれにもメリットとデメリットが